



日本プライマリ・ケア連合学会
中部ブロック支部



発行人:伴 信太郎
事務局 〒466-8560 名古屋市昭和区鶴舞町 65
名古屋大学大学院医学系研究科健康社会医学専攻
総合診療医学 内
Tel.052-744-2951 Fax. 052-744-2951
E-mail:nobuban@med.nagoya-u.ac.jp

ニュースレター No.29(2020.3) 本号の編集担当者 林寛之

【支部情報】

1) 『中部ブロックポートフォリオ発表会 * 2020』

2020年3月7日(日) 会場:名古屋大学医学部鶴友会館2階大会議室

2) 『第9回日本プライマリ・ケア連合学会中部ブロック支部学術集会』

2020年11月29日(日) 会場:未定(石川県内)

●福井県

【報告】

1) TOYP大賞(旧・人間力大賞)2019で福井大学医学部地域プライマリケア講座の井階教授が会頭特別賞を受賞!

TOYP(The Outstanding Young Persons)大賞(旧・人間力大賞)は、環境、医療、経済、政治、科学技術、文化・芸術、スポーツなどのあらゆる分野において、社会に持続的なインパクトを与えることのできる可能性を秘めた傑出した若者(=すごい若者)を発掘し、更なる活躍を期待して国民全体で応援する機運を広める顕彰です。この度、福井県高浜町で地域の専門職、行政関係者、住民と共に、地域主体の健康のまちづくり・たかまモデルを推進する、福井大学医学部地域プライマリケア講座の井階教授が、TOYP大賞2019で、会頭特別賞を受賞しました。



3)健康のまちづくり・たかはまモデルを紹介するドキュメンタリー、日本のチカラ「まち・ひと・医者～福井発！赤ふん坊やと地域医療」が、民教協会長賞を受賞！

テレビ朝日系ドキュメンタリー「日本のチカラ」は、全国各地の「魅力あふれる産業」等を通して地域の歴史や文化、人々の英知や営みを学び、日本の技術力・地方創生への道を描き出す教育ドキュメンタリー番組です。この度、福井県高浜町での地域の専門職、行政関係者、住民と共に、地域主体の健康のまちづくり・たかはまモデルの様子が、「まち・ひと・医者～福井発！赤ふん坊やと地域医療」として同番組で取り上げられ、年間優秀作品に送られる民教協会長賞を受賞しました。

http://www.minkyoo.or.jp/01/2018/11/nipponnochikara_159.html

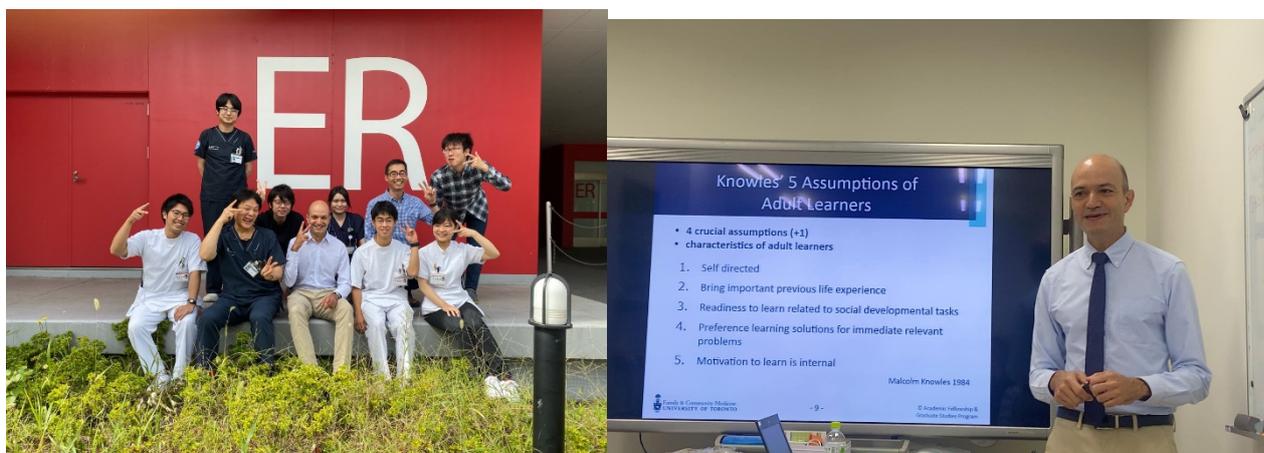


4) 医業経営講演会を開催！

10月15日(火)に、神奈川県鎌倉市の信愛クリニックより井出広幸先生をお招きし、「VISIONを具現化するための定石」という演題でご講演頂きました。井出先生の血と汗と涙から生まれた実体験に基づく定石を授けていただきました。講演内容は、ステークホルダーのVISIONを確認した後に、リーダーシップ、戦略と戦術、機能的なチームを創る極意、逆算力、マーケティングと多岐にわたりご教示いただきました。講演後の懇親会でも、講演会で話さなかった内容や各々の事例について情熱いっぱい話ってくださいました。永平寺町立在宅訪問診療所が開所したばかりであり、今後も継続的に勉強会を継続し、VISIONを実現していきたいと思っております。

5) トロント大学の Abbas 先生をお迎えして勉強会を開催しました！

2019年10月7日～11日、Toronto 大学 Family and community medicine の Abbas Ghavam-Rassoul 先生が、福井へ来日されました。特にメンタルヘルス、ホームレス、卒後教育、FD が専門の先生で、最新の知見をご教授いただきました。うつ病スクリーニングや効果的なフィードバック方法についてレクチャーをしていただきました。フィードバックについてはペンドルトンルールなど、すぐにも実践できる内容がレクチャーに含まれており、大変勉強になりました。また、システムの紹介として精神科医とチームを組むことによって身体的側面と精神的側面のいずれからもアプローチができるようにしている、というお話があり、多職種で診察にあたる重要性を改めて教えていただきました。



6). 高浜町暮らし健康マイスター養成塾 第4期開講！

医療人材の不足地域では、役割と知識を持った住民のコミュニティヘルスケアへの参画が望まれます。そのように、自分の、家族の、地域の健康を守り育てる住民を育成すべく、「高浜町健康マイスター養成塾」を、平成 28 年度より開講しています。町内の専

門職がボランティアで連続講座を提供し、これまでに44名のマイスターが誕生しています。今年度は「暮らし」に焦点を当てた内容（相続、詐欺被害、災害、スマホなど）も取り入れ、マイスターの皆さんが生活の中で地域をつないでいただけるように意識しています。

規定以上の履修で、高浜町より「健康マイスター」が認定され、認定後の継続研修システムや、地域での健康にまつわる自主活動に対する表彰システムを用意します。ヘルスケアボランティアとして、マイスターが地域で活躍されることを期待しております。

7)フレイル・サルコペニア健診開催しました！@永平寺町立在宅訪問診療所

来年度から全国でもフレイル健診が始まりますが、それに先駆け、1月22日・24日・29日・31日の4日間、開設したの永平寺町立在宅訪問診療所で、フレイル・サルコペニア健診を行いました。永平寺町、福井新聞、福井大学総合診療部・地域医療連携講座、福井大学医学生のご協力をいただき、約30名の住民さんに参加いただきました。医学生もいきいきと率先して、お手伝いいただき、地域での活動に興味をもっていただけでした。これをきっかけに診療所に相談しに来てくださる方もいらっしゃいます。診療所として、今後も診療だけでなく、地域の健康維持・増進のお手伝いを展開していきたいと思っております。



フレイル/サルコペニア検診 (FS検診)のお知らせ



全ては寝たきりと入院防止のため

フレイル(虚弱)は加齢により心と体が衰えた状態を指します。その大きな原因はサルコペニア(=体の筋肉が減ること)にあります。サルコペニアは日々の努力で改善することができます。治療の入り口はサルコペニアを見つけることから。FS検診ではサルコペニアの**無料**検診を行っています。

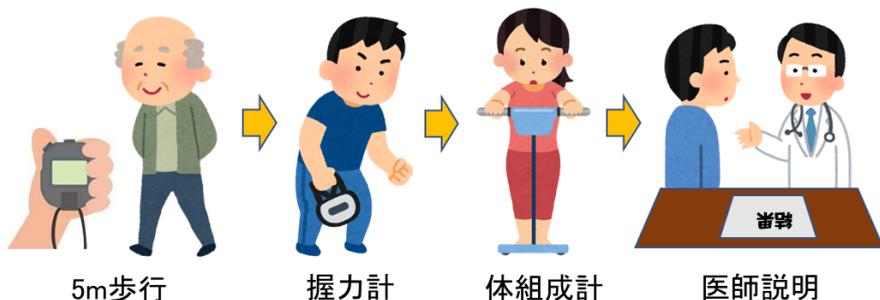
【日程】 2020年1月22日(水), 24日(金), 29日(水), 31日(金)

【時間】 いずれも午後3時から5時

【場所】 永平寺町立在宅訪問診療所 (予約:0776-61-7500)

【対象】 70歳以上の高齢者 (各日30名まで)

【内容】 歩行速度・握力測定→筋肉量測定→結果説明



近年の研究で、サルコペニアのある高齢者は寝たきりになりやすく、入院が多く、病気が治りにくいことが分かっています。

永平寺町立在宅訪問診療所・永平寺町

3)2019 年度第 2 回 福井県家庭医療ポータル発表会

日時 2019 年 12 月 8 日(日) 場所 福井大学医学部附属病院 臨床教育研修センター 白翁会ホール

米国家庭医専門医かつ米国老年医学専門医である神戸市立医療センター中央市民病院の許智栄先生を福井大学に招聘し、「米国での家庭医療専門研修の評価」と「最新の老年医学」についてご講演をいただきました。

家庭医療研修評価については「なぜ評価するのか?」という根本的な問いから、プログラムのビジョンの設定の大切さとゴールの意識の共有の大切さを教えていただきました。また米国の ACGME での家庭医療のコンピテンシーの紹介いただき、プロフェッショナリズムとは?という教えることが難しくかつ評価も難しい内容についても、具体例を示してわかりやすくご説明いただきました。米国でのマイルストーンの位置付けや、実際どのように活用しているのか、そしてそれを利用してどうやって有効なフィードバック、プログラム改善に至るまで、生々しい実際の例も示していただきながら、日本では普段経験できない最先端の評価システムの未来を垣間見ることができました。指導者やプログラム責任者には、今後のプログラム改善のモチベーションアップにつながるエッセンスになり、かつ、学習者には目指すべきものがわかりやすくなり、指導者視点も垣間見ること学びにつなげやすくなったようでした。学習者が指導者からフィードバックを効率的に受けるためのコツも指導いただき非常に刺激的で大満足の内容でした。

老年医学については、認知症予防の最新論文の紹介や最新の高齢者の高血圧管理、話題の人生会議の考え方など非常にエキサイティングな内容で、話題性が高くディスカッションも盛り上がり、実践的な最先端論文とガイドラインの理解を深められ充実感のある講演でした。



●石川県
【報告】

能登地域総合診療強化研究会 クリニカルラウンド
第7回クリニカルラウンド

開催日:12月12日(木)19時から20時
会場:珠洲市総合病院
講師:珠洲市総合病院 須田 拓也先生
テーマ:血球減少で紹介となった一例



第8回クリニカルラウンド(最終回)

開催日:令和2年1月20日(月)19時から20時
会場:公立宇出津総合病院
講師:公立宇出津総合病院 村 宏樹先生
テーマ:高齢・認知症患者における症状説明



能登総合診療セミナー ～総合診療医のキャリアパス～

日時:2020年2月15日(土)14時～17時

会場:和倉温泉「宿守屋 寿苑」

プログラム【講演】

「総合診療専門研修とその後～サブスペシャリティも含めて」

吉岡 哲也 (恵寿ローレルクリニック院長、北陸総合診療コンソーシアム恵寿プログラム統括責任者)

「総合診療医を特徴づけるものは～ショーケースポートフォリオから」

宮坂 麻由子 (飯山赤十字病院総合診療科)、海渡翔、山下勇樹、黒田格

「離島医療の経験から」

黒田 格 (富山市まちなか総合ケアセンターまちなか診療所、元南大東診療所所長)

「在宅医療専門医研修について」

海渡 翔 (東京ふれあい医療生活協同組合 梶原診療所 在宅医療専攻医)

「他科からの総合診療への転向」

山下 勇樹 (大福診療所/土庫病院)

「妊娠・出産・子育てと専門研修」

植木 愛 (福井大学医学部地域プライマリケア講座助教)



【今後の予定】

能登地域総合診療強化研究会 クリニカルラウンド

今年度に引き続き、2020 年度も能登地域総合診療強化研究会主催の能登北部 4 病院(珠洲市総合病院、市立輪島病院、公立宇出津総合病院、公立穴水総合病院)において『クリニカルラウンド』を開催します。

第 1 回クリニカルラウンド

開催日:5 月 20 日(水) 会場:公立穴水総合病院 講師・テーマ:未定

●富山県

【報告】

1) とやま総合診療専攻研修プログラム ポートフォリオ発表会

講師: 頤田病院 在宅医療センター 金 弘子 先生

日時: 2019 年 12 月 15 日(日) 10:00-15:30 会場: 富山大学杉谷キャンパス 大会議室

「乳幼児健診のいろは」と題してポートフォリオの書き方や家庭医・総合診療医としての小児診療の知識について講演いただいた。

2) ものがたり在宅医療フェロシップ研修会「経営と労務管理講座」

(地域医療と経営。地域包括ケア、大阪のおばちゃんモデルを目指す)

講師: 株式会社メディサイト代表取締役 松村 真吾 先生

日時: 2020 年 1 月 25 日(土) 13:30~18:30 会場: ものがたり診療所太田

今回のテーマは経営と労務管理ということで株式会社メディサイト代表取締役の松村真吾さんを講師にお招きし“地域医療の潮流、そして地域包括ケア「大阪のおばちゃん」モデルを目指して”について拝聴した。参加人数は 15 名と少人数ではあったが、会場は古民家でアットホームな雰囲気の中、開催。前半は診療報酬改訂の流れや方向性を紐解きながら、現状の問題点と課題について学び、その上で診療報酬のみでは限界があることを認識。後半は医療政策の基本とされる地域包括ケアシステムを実践している事例を提示、関わる姿勢として大阪のおばちゃんがモデルとされていた。キーワードは【連携】【ゆるく】【共に楽しく】。各々の地域は今後どうあるべきかを深く考えさせられた。

3) 令和元年度 第 4 回 とやまいぴー (とやま多職種連携教育プロジェクト)

日時: 2020 年 2 月 22 日(土) 9:00~16:00 会場: 富山大学附属病院

約 80 名の多職種学生と実務者、地域住民の方々にご参加いただき、2 部制で IPE(多職種連携教育)を行った。午前の部では自作の認知症 VR 動画の提供や多職種理解のためのワークショップを行い、午後の部では模擬事例について検討・意見交換を行った。

●岐阜県

【報告】

1)第44回岐阜プライマリ・ケアカンファレンス

日時:2020年2月28日(金)19:00~21:00

会場:長良川国際会議場

講師:大垣市民病院麻酔科 横山達郎先生

「鎮痛薬・鎮静薬の使い方」

岐阜大学医学部附属病院脳神経外科 助教 江頭裕介先生

「脳塞栓症に対する最新の治療と再発予防」

2)総合診療スキルアップセミナー

日時:2019年4月以降不定期で開催、2020年2月末までに計21回開催しました。

会場:岐阜大学医学部附属病院総合診療部外来

講師:総合診療指導医・専攻医

内容:症例に基づく臨床推論

参加者:各回3~6名の医学生

【予定】

1)第1回総合診療スキルアッププログラム講演会

日時:2020年3月13日(金)19:00~20:30

会場:岐阜大学サテライトキャンパス

講師:三重大学医学部亀山地域医療学講座 教授 若林英樹先生

「家族志向のケア」

2)第2回ジェネふらセミナーin岐阜

日時:2020年3月21日(土)13:00~18:00

会場:じゅうろくプラザ研修室6

講師:県北西部地域医療センター国保和良診療所 所長 廣瀬英生先生

谷汲中央診療所 管理者 西脇健太郎先生

揖斐郡北西部地域医療センター 副センター長 菅波祐太先生

●愛知県

【報告】

2020年1月11日(土)14:00-17:30 『ACCEL 2020 冬』

場所:名古屋大学医学部 会議室1

ACCEL (Attractive Conference on Collaborative and Elaborative Learning for Senior Residents)は、名古屋大学総合診療科が主催するポートフォリオ(PF)の作成支援のミーティングです。年4回開催。今回は総勢16名の参加者でした。愛知県内より3名の外部の先生方にもご参加いただきました。2019年度版の研修手帳について皆で共有をいたしました。



今後の開催予定

2020年3月14日(土)13:00-16:00 名古屋大学医学部基礎研究棟 1F 会議室 1

詳細を知りたい方や参加をご希望される方は、名古屋大学総合診療科 HP <https://www.med.nagoya-u.ac.jp/general/accel/> もご参照ください。コアレクチャーの概要も参照いただけます。

すべての家庭医療・総合診療専門医プログラムの専攻医、指導医、多職種オープン参加を歓迎します。また PC 認定医の受験や更新、専門医更新で PF 作成が必要な方も是非ご参加ください。詳細は下記アドレスにお気軽にご連絡ください。

連絡先:名古屋大学医学部附属病院総合診療科(担当:安藤友一)

E-mail: u1ando@med.nagoya-u.ac.jp

Tel & Fax: 052-744-2951

●三重県

【報告】

1) 第5回訪問薬剤に関する研修会を開催

日時:2020年2月6日(木) 18:30~20:00

会場:三重県立一志病院

5回目となる訪問薬剤業務に関わる薬剤師の交流会を県立一志病院で行い、訪問薬剤に関する困りごとをテーマにグループワークを行いました。

「多職種との連携を実際にどのようにしている?」「訪問依頼が急に途絶えたなと思っていたら、利用者さんが入所していた。誰からも連絡なかったけど・・・」「ケアマネがだれかわからなくて困った。」など日頃のありがちな困りごとの情報共有と改善策を話し合いました。

担当者会議や退院前カンファレンスなどに参加して、多職種と関係性を深め薬剤師にできることを広めていけるというのではないかと、ケアマネともっと連携すべきではないかなど今後に生かせる意見がたくさん出ました。



2) 第8回家庭医療・総合診療セミナーを開催

日時:2019年12月2日(月)18:30~20:00

会場:三重大学医学部先端医科学教育研究棟2階 基礎第1講義室

演者:竹村洋典 先生(東京医科歯科大学大学院 全人的医療開発学講座総合診療医学分野 教授)

題目:都市部の総合診療

3) 第9回家庭医療・総合診療セミナーを開催

日時:2020年1月7日(火)18:30~20:00

会場:三重大学医学部先端医科学教育研究棟3階 多目的講義室

演者:宮崎景 先生(みえ医療福祉生活協同組合 高茶屋診療所 所長)

題目:「地域医療における家族志向型ケア～臨床のコツから研究の応用まで～」

4) 第10回家庭医療・総合診療セミナーを開催

日時:2020年2月4日(火)18:30~20:00

会場:三重大学医学部先端医科学教育研究棟2階 基礎第1講義室

演者:後藤道子 先生(三重大学大学院医学系研究科 臨床医学系講座 家庭医療学分野 助教)

題目:質的研究におけるインタビューを考える

5) 第2回ジェネラリスト「裏」講義-講義では伝えきれない12の課外授業-を開催

日時:2019年12月17日(火)18:30~19:30

会場:三重大学医学部家庭医療学 医局

演者:谷崎隆太郎先生(市立伊勢総合病院)

テーマ:あなたの知らない世界的な危機! 恐るべき耐性菌! ~感染症で死ぬ時代、再び!??~

6) 第3回ジェネラリスト「裏」講義-講義では伝えきれない12の課外授業-を開催

日時:2020年1月14日(火)18:30~19:30

会場:三重大学医学部家庭医療学 医局

演者: 谷崎隆太郎先生(市立伊勢総合病院)

テーマ: ワクチンの事実と解釈 ～効くか効かないか、の世界ではない～

7) 第4回ジェネラリスト「裏」講義-講義では伝えきれない 12 の課外授業-を開催

日時: 2020年2月18日(火) 18:30～19:30

会場: 三重大学医学部家庭医療学 医局

演者: 谷崎隆太郎先生(市立伊勢総合病院)

テーマ: 新型コロナウイルスと感染症パニック

8) 総合診療 虎の穴 を開催

日時: 2020年2月11日(火・祝) 13:00～17:20

会場: 三重大学地域イノベーションホール

「一歩進んだ内科病棟診療」というテーマで、特に年次の若い医師が困りがちな状況への対処を取り上げました。

1題目は谷崎先生(市立伊勢総合病院)と宮松先生(専攻医, 市立伊勢総合病院)による「救急翌朝の再アセスメント」。前医の診断に感じた違和感を丁寧に検証することで希少な疾患の診断に辿り着いた事例がワークショップ形式で共有されました。

2題目は岩佐先生(三重県立一志病院)と日比先生(専攻医, 三重県立志摩病院)による「誰も教えてくれない肺炎診療スキルアップ」。嚥下や誤嚥のメカニズムを実食をもとに体験し、「食べられない」「誤嚥する」という診断に潜む落とし穴を解説しました。

3題目は森先生(みたき総合病院)と上垣内先生(高茶屋診療所)による「総合診療医の語る僻地・離島・未開の地の医療」。海外や僻地、災害現場でのご経験を共有して頂きました。

初期研修医を中心に、医学生から歴戦の指導医クラスまで、計30名が参加しました。いずれのセッションでも活発な質疑応答がなされました。また、終了後に開催された懇親会も盛況でした。

【今後の予定】

1) 第11回家庭医療・総合診療セミナーを開催予定

日時: 2020年3月3日(火) 18:30～20:00

会場: 三重大学医学部先端医科学教育研究棟 2階 基礎第1講義室

演者: 堀端謙 先生(亀山市立医療センター 総合診療科 医師)

題目: 地域医療の現場でリサーチしよう～ゼロから始める臨床研究～

2) ゼロから始める英語診察ワークショップ～USMLE step2cs に向けて～を開催予定

日時: 2020年3月28日(土) 13:00～18:30

会場: 三重大学医学部先端医科学教育研究棟 2階 基礎第1講義室

講師:瀬寄智之 先生(国立国際医療研究センター病院 精神科)

3)第5回ジェネラリスト「裏」講義-講義では伝えきれない12の課外授業-を開催予定

日時:2020年3月31日(火)18:30~19:30

会場:三重大学医学部家庭医療学 医局

演者:谷崎隆太郎先生(市立伊勢総合病院)

テーマ:未定

●静岡県

【報告】

第8回静岡プライマリ・ケアフォーラム報告

令和2年1月19日午後CSA貸会議室7-C(レイアップ御幸町ビル7階)にて、第7回静岡プライマリ・ケアフォーラム(平成30年度第2回日本プライマリ・ケア連合学会中部ブロック静岡県支部地方会)が開催された。

一般演題(ポートフォリオ)として以下の3つの演題が発表され、それぞれ活発な質疑応答、意見交換が行われた。以下抄録抜粋。

1)心筋炎疑いの一例

順天堂大学医学部附属静岡病院救急診療科 柳川洋一、村松賢一、串田好宏、長澤宏樹、竹内郁人、設楽準、大坂裕通、日域佳、大森一彦、大出靖将、

ウイルス感染症状が先行し、1次医療機関で治療を受けていましたが、再診中に心停止し、救命救急センターに搬送された症例を提示します。

2)遠距離介護支援セミナー

佐久間病院 三枝智宏

中山間地では若者の流出に伴い高齢者世帯が増加している。いざ介護が必要になった際に子世代は当惑し、いわゆる遠距離介護を余儀なくされる。そしてそれが破綻すると子の元への呼び寄せ介護となり過疎が更に進展する。または介護離職して帰省する。これらはいずれも社会の損失であり、何としても遠距離介護を成功させなければならない。その思いから、これから介護を担う世代を対象に親の地元で行う遠距離介護支援セミナーを多職種協働で行った。

離れて暮らす親の健康、地域の資源と相談窓口、遠距離介護のコツについてグループワークとレクチャーを行った。参加者アンケートから、地域のサービスを理解できた、利用のハードルが下がった、コミュニケーションの重要性を理解した等の感想を得られた。またグループワークを行ったことで互いに状況を語り共感を得られる効果もあった。

親の居住地で遠距離介護支援セミナーを行うことにより、地域の実情に合わせた実践的な情報を呈示できるが、帰省して参加しなければならず開催と広報についての工夫が求められる。

3) 活動報告:最期まで「生きる」を支える「チーム岡部」の取り組み

三輪医院 三輪一太

平均寿命と健康寿命の差は男性で9年、女性で12年といわれる。最期をどこで迎えるにしても、長い期間介護になることが多いのが現実である。

一方で寿命が延びたことが原因で介護するほうも高齢となっておりサービスを使わないと生活が回らなくなっている。

介護負担を減らし、最期までその人らしく地域で生きていくために、死が比較的近い状態でもデイサービスやショートステイを利用できることが必須であると考えます。

しかし現状では本人と家族が望んでも、状態が悪い人は預かってもらえず、その結果施設入所を余儀なくされる患者さんも多いのではないかと。

我々のグループでは以前より、臨終に近い状態でもデイサービスやショートステイでお預かりし、その結果介護負担の軽減につながり最期まで家で過ごすことができたと考えられる方が多く、在宅で年間 50 名以上の看取りに寄与してきた。ショートステイで亡くなる方も年間数名いる。

ある出来事をきっかけに私が旧岡部町地域を支えるもう 1 つの比較的大きな社会福祉法人に週 1 回カンファレンスに出向いて 6 年。法人は違うが、顔の見える関係と情熱の高まりにより、法人をこえ「チーム岡部」として最期まで「生きる」を支えようという雰囲気とやる気ができたので報告する。

医師が 24 時間 365 日命の責任をとり、常に多職種と情報をアップデートして共有し、その結果医師以外の職種が安心してプロの仕事に徹することが大切である。

一般演題(ポートフォリオ)の後は、川島篤志先生(市立福地山市民病院研究研修センター 県内科医長)を講師にお招きして、①WS「高齢者診療における身体診察のエッセンス」、②講演「地域基幹病院の“外来”と“退院支援”でできること～人生の最終段階の医療の方法を意識した診療とは～」を行った。

一般フィジカルの高齢者バージョン(今月号の G ノートに詳しい)と地域医療と総合診療(主治医)のあり方をお話いただいた。バイタルサイン特に呼吸数、心房細動、「がん検診」、「認知・フレイルの評価」、「ACP」と外来・訪問診療に総合診療的な診療を強調されていた。発表いただいた先生方、当院スタッフ、県支部の先生方、茅ヶ崎からいらした内山先生、何より周囲があわただしい中、お万寿等をお土産にお持ちになられた川島篤志先生に感謝申し上げます。福知山が舞台になる「麒麟がくる」の今後が楽しみである。

休憩を利用して地方会総会が行われた。

34 名の参加者(医師 26 名、薬剤師 5 名、看護師・保健師 3 名)であった。





静岡家庭医養成プログラムより

リサーチワークショップ 2020

混合型データ収集法を計画及び表示するためのジョイント・ディスプレイの使い方

2020年2月8日(土)9:00~12:00

掛川市生涯学習センター 第2会議室(静岡県掛川市御所原17-1)

講師:マイク D. フェターズ M.D., M.P.H., M.A.

(文責 北西史直)

●東海家庭医療ネットワーク

【報告】

2020年2月29日(土)に第34回東海家庭医療ネットワークカンファレンスを三重県四日市市のみたき総合病院にて執り行いました。当日はあいにくの雨模様でしたが、10名の参加者と2名の講師、総勢12名で学びを深めました。新型コロナウイルス感染症の影響で開催の可否を最後まで悩みましたが、お互い顔見知りのごく少数の集まりでしたので、標準予防策を遵守しつつ会合を決行したのでした。

まずはみたき総合病院口腔外科の佐々木先生より、プライマリ・ケアに関連する歯科診療の実際についてお話しいただきました。地域の中小病院の口腔外科では一般歯科の診療も担っているとのことで、訪問歯科も行いながら病院で手術もこなすという幅広い経

験をもとに、家庭医も知っておきたい歯科知識を伝授いただくことができました。歯列の表記方法の読み方(「3 や 7」など)から始まり、訪問歯科の実際、乾燥した口腔内の痲痰の取り除き方、歯痛の鑑別と対応方法、顎関節脱臼の整復方法、顎骨壊死の問題等々、非常に実践的で興味深い内容でした。

我々の学習会ではよく専門医とのコラボレーション企画を行っているのですが、今回もかなり充実したもので参加者から好評でした。

次は三重大学医学部亀山地域医療学講座教授の若林英樹先生より、家族志向型ケア「なんとなく傾聴するレベルから次の一手に」と題して、実際の症例検討を交えながらディスカッションし学びを深めるワークショップを



していただきました。末期がんの終末期緩和ケアで患者である夫に対してオピオイドの使用をしながらない妻という症例から、家族の構造、機能、時間の流れを整理し、仮説を設定したのちノーマライジング、リフレーミングといったスキルを利用して家族システムの変化を促す介入方法を学びました。

家庭医のコアとなる知識や技術についての学習も特に学生や若手医師に好評の企画です。今回はベテランの医師の割合が多かったですが、それはそれで議論が深まり、学びが多かったです。

年2回程度カンファレンスを企画し、小規模ですが内容の濃い学習を続けています。東海家庭医療ネットワーク会員でなくても

参加できます。2020年度は夏頃愛知県で開催予定ですので、皆さん奮ってご参加ください。

(文責:東海家庭医療ネットワーク代表 田中久也)

<支部運営についての情報>

- 各県の代表窓口は下記の方々です

三重県；宮崎景、富山県；山城清二、石川県；吉岡哲也、岐阜県；森田浩之、愛知県；佐藤寿一、福井県；林寛之、静岡県；北西史直

- プログラム責任者の会中部ブロック代表；大杉泰弘（藤田保健衛生大学総合診療・家庭医療プログラム）

- 中部ブロックの活動に関するご意見等ありましたら下記までご連絡ください。

木村 悦子（中部ブロック支部事務局） e-kimura@med.nagoya-u.ac.jp